



立花書房 最新刊 令和4年3月刊行

別冊治安フォーラム

オウム真理教の潮流

■ オウム真理教風化防止委員会 編著

■ A5判 ■ 並製 ■ 192頁

定価 1,980 円 (本体 1,800 円 + 税10%)

ISBN978-4-8037-1412-8 C3036

本書のポイント

教団の組織的違法行為等を詳しく分析！

地下鉄サリン事件から四半世紀が経過し、一連の事件の記憶は薄れつつある。そうした現状に警鐘を鳴らすため、教団の活動を振り返るべく、「治安フォーラム」バックナンバーから16本の論考を厳選。

コロナ禍において組織拡大を図る教団の本質を見極める！

解散命令や観察処分、幹部の死刑執行等により教団の危険性は低下したのか。社会に漠然とした不安を抱く若者たちを取り込み、今なお組織拡大を試みる教団の本質を見極める。

各種昇任試験対策にも使える！

地下鉄サリン事件、松本サリン事件、団体規制法に基づく観察処分、Aleph、山田らの集団、ひかりの輪、海外における活動、被害者賠償、松本元死刑囚の遺骨等の引取人の確定など、昇任試験で問われ得る項目を詳しく解説。

内容見本

第1節

オウム真理教の設立、教義、組織拡大に向けた活動等

はじめに

オウム真理教は、世界的にも犯罪史上例をみない化学兵器を使って一般人を無差別に殺害する「松本サリン事件」や「地下鉄サリン事件」を引き起こした。これらの事件では、今なお、後遺症に苦しむ方々が大勢おられる現実があり、事件は過去のものではないことを改めて認識する必要がある。また、このような凶悪

しかし、地下鉄サリン事件という宗教団体が我々

だけであろうか。治安フォーラム

「オウム真理教」の成立

一度、オウム真理教を

オウム真理教の潮流

別冊治安フォーラム

オウム真理教の潮流

オウム真理教風化防止委員会 編著

立花書房

第8節

教団の海外における活動
(ロシアを中心に)

はじめに

本章は、これまでオウム真理教の設立、教義、一連の凶悪事件を引き起こすに至った経緯等を紹介してきたが、本節は、章の最後として教団の海外における活動について、特に教団との繋がり深いロシアとの関係を中心に考察していきたい。

月	日	内外
1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

第3節

カルト指導者暴走の脅威
～オウム真理教による一連の事件を忘れない～

はじめに

令和元年を迎え、大学を卒業して新社会人となった若者の多くは、地下鉄サリン事件後に生まれた世代となった。間もなく四半世紀にも及ぶ時の流れとともに、「地下鉄サリン事件って何？」と口にする若者が増えていくのも致し方ない。オウム真理教の「オウム」とは、アルファベットで「AUM」と書き、サンスクリット語でそれぞれ「A（創造）」「U（維持）」「M（破壊）」を意味し、3文字で「無常」を表していることも、知る者は少ないだろう。一方で、麻原彰晃こと松本智津夫（以下「松本」と呼称）が地下鉄サリン事件など一連の凶悪事件の首謀者として死罪に処せられたにも関わらず、オウ

第4節

令和3年の
オウム真理教の動向と
今後の展望

はじめに

13人が死亡、5,800人以上が重軽傷を負った平成7年のオウム真理教（以下「教団」という。）による地下鉄サリン事件から、令和3年3月20日で26年が経過した。同日、多くの被害者が出た東京都千代田区の霞ヶ関駅では、同駅助役だった夫を亡くした高橋シズエさんや駅職員らが献花を行い、高橋さんは、「時とともに寂しき、悲しみが薄らぐ」と語り、東京都新宿区のNPO法人「リカバリー・サポーターズ」から年1回行っている無料の健康診断には、視力低下や頭痛などの後遺症を訴える被害者が、100人前後訪れているという。今なお、教団が引き起こ

目次裏面参照▶▶▶

第1章 オウム真理教の活動

- 第1節 オウム真理教の設立、教義、組織拡大に向けた活動等
第2節 武装化し、テロ組織へと変貌する教団
第3節 無差別大量殺人行為に及ぶなど、次々に凶悪事件を引き起こした教団
第4節 教団に対する警察の捜査と公判
第5節 地下鉄サリン事件後の教団をめぐる動向
第6節 団体規制法に基づく観察処分が付された後の教団活動
第7節 教団への松本家族の関与（教団支配の実態）
第8節 教団の海外における活動（ロシアを中心に）

第2章 近年の動向

- 第1節 オウム真理教に係る被害者賠償について
第2節 オウム真理教の誕生から地下鉄サリン事件まで
～その時代背景と今後の脅威について考える～
第3節 カルト指導者暴走の脅威
～オウム真理教による一連の事件を忘れない～
第4節 令和3年のオウム真理教の動向と今後の展望
第5節 令和2年中のオウム真理教の動向と今後の展望
第6節 平成31年・令和元年中のオウム真理教の動向と今後の展望
第7節 平成30年中のオウム真理教の動向と今後の展望
第8節 平成29年中のオウム真理教の動向と今後の展望

FAXでのご注文は、切りとらずにそのままご送信ください。FAX 03-3233-2871

申込書

* 別冊治安フォーラム
オウム真理教の潮流

合 計 _____ 部

ご所属名	庁	道府県
(署・隊・課)		

ご担当者名 _____ (TEL : _____)

係 名	氏 名

係 名	氏 名

(ご記入いただいた個人情報は、購入申込み及びそれに伴うご連絡・弊社図書ご案内に利用させていただきます。)

*お申込みは合計部数だけでも承ります。



立花書房

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-2

TEL:03-3291-1561(代表) <https://tachibanashobo.co.jp>